



スピーチロック、 できる宣言で意識改革

広島県
介護老人保健施設ぬまくま
看護師 神原 佐世子

施設概要



場所 広島県福山市
ベット数 60床
超強化型施設
併設病院 沼隈病院

〈2022年度平均〉

在宅復帰率 64.8%
要介護4.5割合 55.5%
平均介護度 3.32

<はじめに>

身体的拘束適正化検討委員会 3か月に1回開催

身体拘束 3つのロック

- ・スピーチロック
- ・フィジカルロック
- ・ドラックロック

注目 スピーチロックを減らす
行動目標「できる宣言」唱和

<目的>

- ・「できる宣言」を唱和することで職員お意識改革を行う
- ・ 行動制限せず、利用者の方が日々穏やかに入所生活ができる

<方法>

- ・ 3か月に1回の委員会で、検討し「できる宣言」を作成
- ・ 朝のミーティングの際に唱和する
- ・ 職員へのアンケート

<できる宣言>

- ・立たないで！座っというて！はNGワード、どうされましたか？と変換しよう
- ・優しい声掛け心がけ、イラっとしたら一呼吸
- ・取り組もう！みんなの過ごしたくなる場所作り
- ・誰から見ても気持ちいい、声掛け態度やっていこう
- ・忙しい時こそ一呼吸、利用者様の思いに寄り添おう

<結果 考察>

1 問目「できる宣言」を唱和することで自己の行動に変化がありましたか？

- ・「ちょっと待ってください」と言った後に「あっダメだなと意識するようになった
- ・朝一番に唱和することで意識付けとなり、利用者への対応に注意を払うようになった
- ・「どうされましたか」と声かけするように意識するようになった

2 問曰「できる宣言」を唱和することで意識することができるとおもいますか？

- ・言葉に出し耳で聴くことにより、脳に働きかけることができる
- ・自分の頭の中に残り、ふとした場面で思い出し氣を付けることができる
- ・個人差があると思うが、言葉に出すことにより自分はどうか毎回振り返り意識しながら職務に従事できると思う。



<終わりに>

- ・ 利用者の対応には個人差がある
- ・ 組織として心理的安全性を築くことが必要である
- ・ 認知症の方の対応について知識を深めていくことが必要である

A photograph of a large, modern hospital building with multiple stories and a prominent red cross on the roof. The building is surrounded by lush green trees and hills in the background. In the foreground, there is a parking lot with several cars and a small entrance area. The text "ご清聴ありがとうございました" is overlaid in red on the lower part of the image.

ご清聴ありがとうございました